

国際奉仕委員会

国際奉仕委員会 委員長 廣橋 宣光（深谷東RC）



国際奉仕委員会の意義とは、ロータリーが掲げる「国際理解・親善・平和の推進」をクラブレベルで具体的な行動に落とし込み、会員が国際的視野を広げる機会を創出することにあります。

海外クラブとの交流や共同事業を通じて文化や価値観の違いを理解し合い、相互の信頼関係を築くことは、ロータリーの理念を体現する重要な活動です。また、補助金事業や国際協力プロジェクトを推進し、地域を越えて世界に貢献できる仕組みを整えることも委員会の役割となります。

今後、国際交流を起点に各クラブが持つ魅力や楽しさを共有し、国際奉仕への理解を深める取り組みを進めてまいります。さらに、クラブが参加しやすい国際奉仕事業のメニューを整備し、事例紹介を通じて国際奉仕の価値を広く伝えていきます。地区としては、経験の差に関わらずすべてのクラブが国際奉仕に踏み出せるよう、情報提供や相談体制を強化し、安心して参加できる環境づくりを進めます。また、クラブの垣根を越えて交流する機会を増やし、若手会員や新入会員が国際奉仕に触れる場を広げてまいります。

加えて、地区内クラブ同士が互いの取り組みを学び合い、成功事例を共有することで、国際奉仕の裾野をさらに広げていきたいと考えています。国際奉仕は単独のクラブだけでなく、地区全体が連携することでより大きな成果を生み出すことが可能です。そのためにも、継続可能な仕組みづくりと、クラブ間の協働を促す環境整備を進めてまいります。

委員会は国際交流の架け橋となれるよう努め、複数クラブが共同で参加できる体制を構築し、ロータリー財団や公共イメージ委員会とも連携を深めながら活動してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。